

段階	ハルマゲドンの戦いの展開	関連箇所
第1	反キリストの軍勢、ハルマゲドン（メギドの丘）があるイズレエル平野に集結 この集結を、神の目から見ると	黙 16 : 12~16 ヨエ 3 : 9~11、詩 2 : 1~6
第2	反キリストの首都バビロンが攻撃される バビロンは世界経済の中心地となっていた 攻撃するのは、異邦人信者たち	イザ 13 : 1~14 : 23 エレ 50~51章 ゼカ 5 : 5~11 イザ 13 : 3
第3	反キリストは、バビロンを見捨て、当初の作戦どおり、エルサレムに進軍する。 イスラエル軍は激しく抵抗する。 激戦の末、エルサレムは陥落する。しかし、エルサレムにユダヤ人が残る	ゼカ 12 : 1~3 ゼカ 12 : 4~9 ミカ 4 : 11~5 : 1 ゼカ 14 : 1~2
第4	反キリストは、多くのユダヤ人が避難しているヨルダン川東側の山岳地帯の町ボツラに進軍する ユダヤ人たちは荒野で3年半、養われる その場所はボツラ 大患難期後半期のユダヤ人迫害と戦役により、ユダヤ人の全人口は3分の1に減少 反キリストの軍勢がボツラに迫り、ユダヤ人は危機	エレ 49 : 13~14 黙 12 : 6、14 イザ 41 : 8~20 ミカ 2 : 12 ゼカ 13 : 8~9a マタ 24 : 28
第5	ボツラにいた指導者たちの呼びかけで、イスラエル民族全体がイエスをメシアとして認め、メシアを拒否してきた民族的な罪を悔い改める。そして、メシアに帰って来てくださいと祈る。呼びかけから2日間。3日目に、イスラエル民族全員が霊的救いを受ける。偽預言者たちが処刑される。	ホセ 6 : 1~3 イザ 53 : 1~9 イザ 64 : 1~12、詩 79・80 ゼカ 12 : 10~13 : 1 ヨエ 2 : 28~32 ゼカ 13 : 2~6
第6	メシアがボツラに地上再臨する。 メシアはひとりで反キリストの軍勢とボツラで戦う。 再臨するときのシャカイナ・グローリーケルブに乗る 万軍（天使たち）を伴う・教会の聖徒たちを伴う 反キリスト軍との戦いでメシアの衣は血に染まる イスラエル民族は神の民とされたことを知る	イザ 34 : 1~7、63 : 1 イザ 63 : 2~6、ハバ 3 : 3 ミカ 2 : 12~13 マタ 24 : 30、使 1 : 9~11 詩 8 : 8~16 マタ 16 : 27、ユダ 14~15 黙 19 : 17~19、13 エゼ 39 : 17~29
第7	ボツラからエルサレムの郊外、ヨシャパテの谷までの戦い。 反キリストはメシアによって殺される。 その霊魂はハデスに、死体は葬られずに放置される。 エルサレム近郊で反キリストの軍勢は壊滅する。	ヨエ 3 : 12~13 ハバ 3 : 13b、IIテサ 2 : 8 イザ 14 : 3~11、16~21 ゼカ 14 : 12~15、黙 14 : 19~20、エレ 49 : 20~22
第8	メシアがオリーブ山の上に栄光の王として立つ。 大地震が起きて、地形が大きく変わる。	ゼカ 14 : 3~5、ヨエ 3 : 14~17、黙 16 : 17~21

ハルマゲドンの戦いについて： ハルマゲドンの戦いは、8つの段階をもって展開される。

黙示録は、その最初の第1段階と最終の第8段階を、16章12~21節で記す。

8つの段階は、旧約聖書により預言されている。その内容は、それぞれの預言が部分的であり、かつ時系列ではない。そこで、内容を整理して論理的な順序をつけると、上表のとおり8段階になる。

黙示録は最初と最後を明らかにしているので、論理的順序をつける上で大変役にたつ。